

ふるさと公園応援隊 かわらばん

第 161 号

(初刊：2011 年 11 月 6 日)

発行日：2025 年 03 月 10 日

発行元：ふるさと公園応援隊

編集責任者：深澤 満

寒気と暖気が交錯する早春

2月の定例作業日(2/25)は、

早朝は寒く、自宅玄関先の水槽には厚い氷が張っていましたが、風も弱く作業開始頃には、陽射しの暖かさを感じるようでした。連日の晴天による乾燥のため、霜柱はほとんどみられませんでした。

「湿地」も湿り気はほとんど無しの状態でした！

この日の参加者は 18 名。

林内整備は 12 名で、第二駐車場～桜木神社通り側での作業。

ゴミ班は、遅れて参加の 1 名を加えて 6 名。久しぶりに産廃通りに向かいました。



[02/25 集合写真]

まずは林内班の**三浦さん**からの報告・感想です。

『予報では最低気温-1 度、最高気温 9 度。風も殆ど無い穏やかな小春日和を感じさせ、活動日としては申し分ない日となった。』

こうした天気とあって、集まった人は 18 人と、いつにな

く多かった。

準備体操、全員写真後の班編制はゴミ収集班 6 人、林内班 12 人に分かれてスタート。

林内班の作業地は前回に続く場所だ。何時ものように作業に必要な諸器材の脚立、チェーンソー、刈り払い機 4 台、鋸、鎌、太丸、補給用燃料を準備し積もうとリヤカーを引っ張り出したところ、片側のタイヤの空気が抜けていた。急遽備え付けの空気入れで空気を入れようとしたが肝心の空気入れの先の部分が紛失してリヤカーの空気バルブに装着出来ないで空気が入れられない。このままでは困ると二人掛りで知恵を出し合い創意工夫し何とか最小限の空気を補充する事が出来た。完全なパンクでは無く単なる空気漏れと考え原因と思われる「虫ゴム」の交換をしたが「空気漏れ」は止まらなかったようだ。

緑町の公園管理事務所に連絡し代替品の補充をして貰うしかないだろう。

リヤカーに資器材を積み、芝生広場の近くに休憩場所を設けそれぞれの作業内容に応じ分散して着手した。

今日の作業地は、同じ作業

を繰り返してきたが一番面積のある場所であり、地形的に桜木神社通り側が何メートルか低いので芝生広場側からの視界は、下枝が邪魔して林全体が一望に見通せないため、この日もその改善をしようと臨んだ。

達成できれば冬季の見通しばかりか、夏季には涼しい風が吹き抜ける気持ちの良い林に変わるだろう。

あともう少しで目的が果たされると思うと、モチベーションが高まり張り合いも出てくるだろう。

それにしてもこのエリアでは、毎回落下枝の処理をしているが、拾っても拾っても、次から次へと新たな落下枝が生じ尽きることがない。ナラガレの樹が発生源と判るだけに、作業中の安全性が脅かされるので心配は尽きない。まだ枯れた大木が残っており、上空遙か高いところにある細い梢側から劣化して折れて落下する心配から、一日も早く開放されたいと願うこの日の作業だった。』



[02/25 林内班集合]



[02/25 林内作業-1]



[02/25 林内作業-2]



[02/25 林内作業-3]

サ～テ、この日のゴミ班は、ゴミ袋の補充などもあって少し出遅れたので畑の中を通らず、第一駐車場沿いの道路から日比田川の遊水池脇の道路を通り、産廃通りへ向かいました。

そのあとは、東京狭山線～サッカー場～湿地～新園路～中央通り～旧管理棟と廻りました。コース記号は、イ-I-H-G-O-P' -a-a' -i-ロ-i-j-L-K となります。

久しぶりに回ったコースなので、様々なゴミがありました。中でも中型の旅行ケースでは、「中身は何か？」おそろおそろ持ってみると、空のようでした。このゴミは出発点に近いところにあったので、後から回収しました。

産廃通り付近では高いところにひっかかったビニールが、多く見られました。

東京狭山線沿いでは重たいシートが見つかりましたが、次回以降の回収ということにしました。



[02/25 ゴミ班集合]



[02/25 中身は何か?]



[02/25 ゴミ集約]



2月の第二業日(2/11)は、
北風が強くなるとの予報通

り、朝はたいした風は吹いていませんでしたが、作業途中から時折風が気になりました。帰りの頃は次第に強く吹き出してきましたね～。

本日の参加者は17名。3年ぶりの参加者や、子供2人もいらっしゃいました。

林内班9名は第二駐車場から桜木神社通り方面での作業。

ゴミ班8名のコースは、東西通り～東京狭山線～サッカー場～湿地～霊園通り～桜木神社通り～中央通り。



[02/11 集合写真]

林内班の**三浦さん**からの報告・感想です。

『連日のニュースで、日本海側は異常な積雪に悩まされている様子を見ると、本当に大変だと思う。反面太平洋側は積雪の予報は出るのに降らず、快晴が続いているのは有り難いと思う。特に昨年初頭から大地震に襲われ大変なご苦労をされたばかりか、その後豪雨被害に遭い、さらに今豪雪に苦しんでいる能登地方の人達の生活を慮ると心痛んでならない。同様に豪雪で知られる青森の八甲田連峰への途中にある酸ヶ湯では、既に積雪量が5mを超えこれまでの記録を超える勢いとのこと

で、これも半端ない。

例年日本海側が雪の時は太平洋側は晴れることが多かったのは承知していたが、今年には異常だ。西高東低の気圧配置の際に、低気圧が八丈島付近を通過する時に太平洋側にも思わぬ降雪をもたらすらしい。4月のサクラの季節に思わぬ降雪に驚いた経験もあった。しかし自然の摂理かどうかは判らないが、統計的には年間の降水量は帳尻を合わせらしい。日頃天気の様次第だとうそぶいている私自身でさえが、いつ天変地異が日本列島を襲うかは予測出来ないが、日頃から用心は欠かせない事を学び知らされた今年の異常な豪雪だと受けとめている。

さて、第二活動日のこの日は、-2度と冷え込んだが紺碧に眩しいばかりの陽光に誘われ心穏やかな気持ちで向かった。また「建国記念の日」とあって、着く前から遠方で広場を駆け回っている子供達の歓声が聞こえてきた。風もなく穏やかな小春日和を感じさせるこの陽気では、日中大勢の利用者が訪れるだろうと思った。この日集まった人数は17人、メンバーの中には祝日と活動日が重なったので久しぶりに顔を見せた人、複数の子供を連れて参加の人など加え、多くが集まってくれた。班編制はゴミ収集班8人、林内班9人。

林内班の作業地は第二駐車場と桜木神社通りに囲まれた一帯とした。作業は一帯の笹の刈り払いに2人、桜木神社通りの低地一帯の常緑樹の伐採と下枝下ろしにチェーンソーと脚立を持って4人、その他は刈り込み鋏や鎌鋸を携えた3人は落下枝集めと下刈りなどに分担して着手した。風も無く暖かさもあって、薄ら汗をかけた活動日だった。

作業を終えて桜木神社通り方向を見渡してみれば林床の刈り払いや落下枝を片付けですっきりし、また低地一帯の常緑樹の下枝が伐採されたので見通しが格段に向上した。

休憩時間の頃には原っぱ広場では大勢の利用者で一段と賑やかな雰囲気となっていた。がまた別の心配も湧く。駐車場の利用状態からして、今後この先利用者のさらなる増加が続き駐車スペースの不足で路上駐車が生じる事態もあるかもなどと心配してしまった。』



[02/11 林内班集合]

ゴミ班の巡回コースは、記号でいうと、K-M-L-l-F-a'-k-i-ろ-i-C-U-C-B-j-L-K となります。

ゴミ班が巡回しての、特記

事項は次の通りです。

*産廃通りがきれいに刈り込まれ、倒木もなくなりました。(次回-2/24のコース予定とする)

*サッカー場近くの新園路分岐点での休憩時には、フーフ・・・おしるこがふるまわれました。

*湿地では蠟梅がいい香りを漂わせていました。

*湿地は枯れ草をかき分けるとわずかに湿り気はあるけど、大分乾いてきてますね～。

*人数が多かったのも、それなりの量のゴミが集まりました。



[02/11 ゴミ班集合]



[02/11 子どもは笑顔で]



[02/11 「湿地」の蠟梅]



[02/11 ゴミ集約]

2月末の作業日からかわらばん発行の本日まで、天候が目まぐるしく変わりました。そのせいか、心身共にダメージを受けた方も多いかと思います。明日に差し迫った3月の作業日には、皆さんと元気な笑顔でお会いしたいものです。

3月の作業予定

定例作業日:3月25日(火)

第二作業日:3月11日(火)

作業時間_9:30~11:30

*作業内容:

ゴミ拾い・林内作業

*持ち物:手袋、タオル、雨具、飲み物、念のため、保険証・お薬手帳など

荒天など天候不順の場合は、事前に中止連絡しますが、微妙な場合現地にて判断します。

判断に迷うときは、深澤まで
[090-8014-3310]連絡下さい。

2025年3月以降の作業予定日-

3/11(火) 3/25(火:定例)

4/8(火):応援隊総会的懇談会

4/15(火) 4/29(火・休:定例)

5/13(火) 5/27(火:定例)

6/12(木) 6/24(火:定例)

7/15(火) 7/29(火:定例)

*6月~7月でも、「熱中症警戒アラート」が発令された場合は中止します。

*8月は現地作業は中止します。

*8/26は、懇談会と納涼会を予定します。

各種感染症注意!!

コロナをはじめとして、インフルエンザや各種感染症が流行しています。手洗いなどの感染対策とともに、日常からの、「バランスのとれた栄養補給」「適度な運動」「快適な睡眠」などで、しっかりと体調管理をしましょう。

コロナ対策の基本について

WHOは「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を終了しましたが、同時に「ウイルスは命を奪い続け、変異も続けている。宣言の終了をもって各国は国民に、新型コロナウイルスは心配ないというメッセージを送ってはいけない」と述べています。ということで従来の予防策に準じた行動を基本とします。

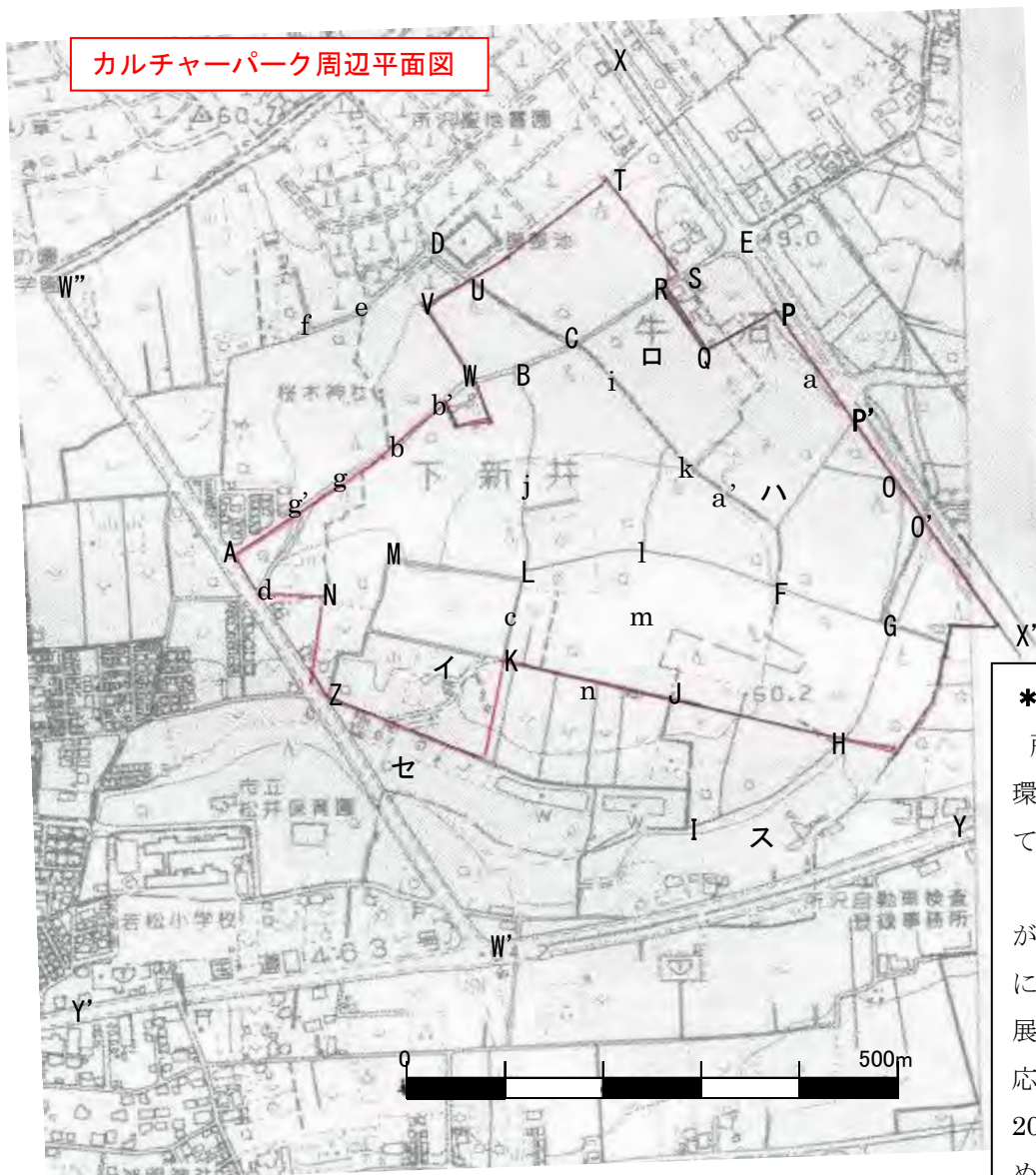
新型コロナ発生時の対応

- ①毎回参加者名簿を作成する(三浦さんがつけている出欠簿による)。
- ②次の場合その都度、代表へ連絡する。(発信元は伏せて参加者に知らせる)
イ.症状があり、検査を受けた時。
ハ.検査結果と医師・保健所などの指示があったとき。
- ③陽性者が出た場合、求められれば、参加者名簿を保健所・公園課に提出します。

感染予防対策、

- ・間隔をとっての行動。(体操・作業)
- ・マスク着用:各自の判断とします。
- ・作業間隔の短縮・水分補給。
- ・使い捨て手袋または終了直後に洗える手袋など使用(特にゴミ拾い)。
なお、石鹼・消毒用アルコールは準備しています。

カルチャーパーク周辺平面図



カルチャーパーク周辺 名称

地点名	イ	現在のデイキャンプ場
	ロ	湿地
	ハ	現在のサッカー場
	セ	特養、グループホーム
	ス	産 廃
	E	交差点「開発」
	W'	交差点「牛沼」
通り名	X-E-X'	県道東京狭山線
	W'' -A-W'	市道 カルチャーパーク通り
	Y-W' -Y'	国道
園内通り名 (仮称の たたき台です)	A-B-C-E	桜木神社通り
	D-C	霊園通り
	C-F	サッカー場通り
	B-L-K	中央通り
	L-F-G	東西通り(L-F:フラワー通り)
	G-H	東通り
	K-J-I	農道
I-H	産廃裏通り	

園内の通りの名称は仮称(たたき台)です。
皆さんからの御意見をお寄せください。

*この「応援隊」は

所沢市民大学 18 期「都市の環境」講座の受講生が呼びかけて始められました。

“所沢カルチャーパーク”が、「平成 11 年度基本構想」にのった公園として発展・整備されるように見守り、応援してゆくことを目指し、2011 年 10 月より活動をはじめました。

定例作業は毎月最終火曜日

まずはゴミ拾いと散策から取り組んできましたが、現在は「森の再生」をも念頭に置き、作業内容も広がっています。

どなたでも参加できますのでお気軽にどうぞ。

追加の予備作業日については、「かわらばん」でお知らせします。

*お願い

「かわらばん」の発行は、定例作業日(毎月最終火曜日)の翌月 10 日となっています。

参加された皆様、写真や感想メモのあるかたは、**翌月の 5 日**までに深澤まで送ってください。よろしく。